

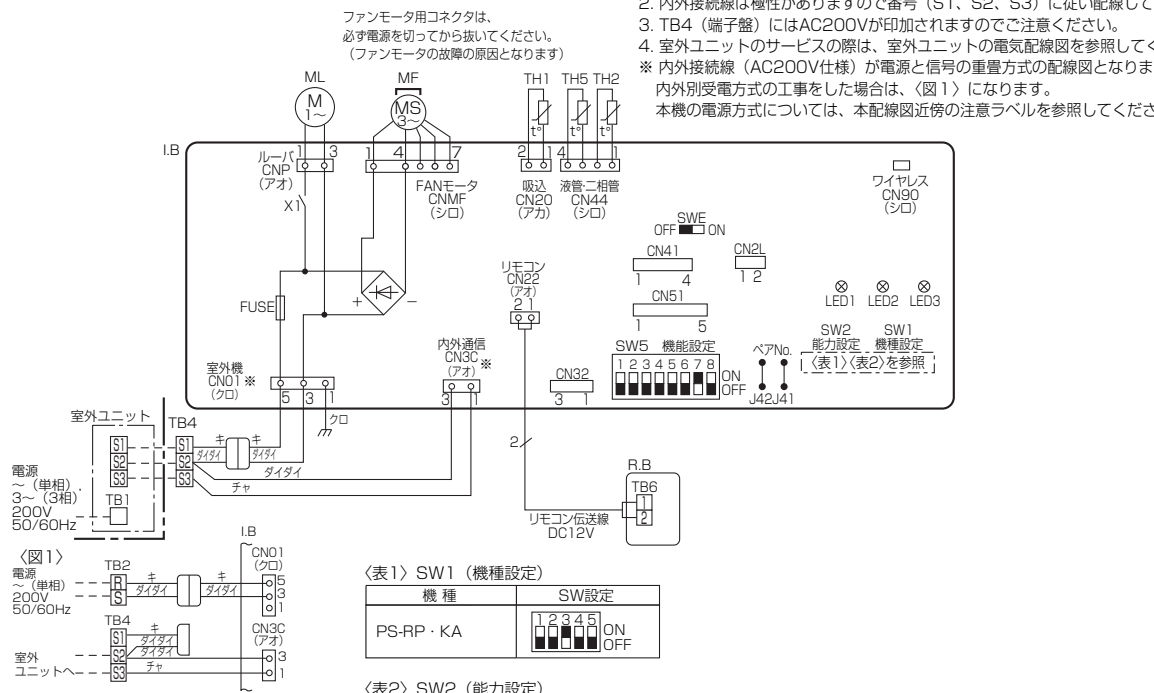
PS-RP50,56,63,71,80,112,140,160KA7 電気配線図

【記号説明】

記号	名称	記号	名称
I.B	室内制御基板	MF	送風機用モータ
FUSE	ヒューズ (6.3A)	ML	ルーバ用電動機
CN2L	コネクタ (別売: ロスナイ、遠方表示キット)	TB1	端子盤 (室外: 電源及び内外接続線)
CN32	コネクタ (別売: 遠方発停アダプタ)	TB2	端子盤 (室内: 電源 (別売))
CN41	コネクタ (JEMA標準HA端子-A)	TB4	端子盤 (室内: 内外接続線)
CN51	コネクタ (集中管理)	TB6	端子盤 (リモコン伝送線)
LED1	発光ダイオード (マイコン電源)	TH1	サーミスタ (室内吸込温度検知) 0℃ / 15kΩ、25℃ / 5.4kΩ
LED2	発光ダイオード (リモコン給電)	TH2	サーミスタ (室内配管 (液管) 温度検知) 0℃ / 15kΩ、25℃ / 5.4kΩ
LED3	発光ダイオード (室内外通信)	TH5	サーミスタ (室内配管 (二相管) 温度検知) 0℃ / 15kΩ、25℃ / 5.4kΩ
X1	リレー (ルーバ)		
SW1	スイッチ (機種設定 (表1) 参照)		
SW2	スイッチ (能力設定 (表2) 参照)		
SW5	スイッチ (機能設定)		
SWE	コネクタ (通常/応急運転切換)		
R.B	ワイヤードリモコン		

【注意】

- は端子盤、□○○□ はコネクタを示します。
 - 内外接続線は極性がありますので番号 (S1、S2、S3) に従い配線してください。
 - TB4 (端子盤) にはAC200Vが印加されますのでご注意ください。
 - 室外ユニットのサービスの際は、室外ユニットの電気配線図を参照してください。
- ※ 内外接続線 (AC200V仕様) が電源と信号の重畳方式の配線図となります。
内外別受電方式の工事をした場合は、(図1) になります。
本機の電源方式については、本配線図近傍の注意ラベルを参照してください。



〈表1〉SW1 (機種設定)

機種	SW設定
PS-RP・KA	1 2 3 4 5 ON OFF

〈表2〉SW2 (能力設定)

形名能力	SW設定	形名能力	SW設定	形名能力	SW設定	形名能力	SW設定
50形	1 2 3 4 5 ON OFF	56形	1 2 3 4 5 ON OFF	63形	1 2 3 4 5 ON OFF	71形	1 2 3 4 5 ON OFF
80形	1 2 3 4 5 ON OFF	112形	1 2 3 4 5 ON OFF	140形	1 2 3 4 5 ON OFF	160形	1 2 3 4 5 ON OFF

■はスイッチの位置を示します

【自己診断】

- リモコン(本体取付)の [点検] スwitchを連続して2度押しとユニットは自己診断モードとなり、過去に発生した点検コードを液晶表示します。点検コードと不具合内容は下表をご覧ください。
- 別売ワイヤードリモコンの場合の自己診断方法については技術資料等を参照ください。

点検コード	不具合内容	点検コード	不具合内容
P1	吸込センサー異常	E0~E5	リモコン-室内ユニット間の通信異常
P2	配管 (液管) センサー異常	E6~EF	室内ユニット-室外ユニット間の通信異常
P6	凍結/過昇保護作動	U*, F* (※は誤作動)	室外ユニットの不具合
P8	配管温度異常	----	室外ユニットの電気配線図参照
P9	配管 (二相管) センサー異常	----	異常履歴なし
Pb	室内制御基板異常	FFFF	該当ユニットなし
PL	冷媒回路異常		

【応急運転】

- リモコン (本体取付) または室内ユニットのマイコンが故障したとき、他に不具合箇所がなければ室内制御基板の応急切換コネクタ (SWE) をONに設定すると、室内ユニットの応急運転となります。応急運転中の室内ユニットはファン強風運転状態となります。※なお、別売ワイヤードリモコンの場合、リモコンが使えなくなったときは、受光アダプターの応急運転スイッチを操作することにより、冷房/暖房運転が可能です。
- 冷房または暖房の応急運転を行なう場合、室内制御基板上のコネクタ (SWE) 設定と室外ユニットの応急運転が必要で、室外ユニットの応急運転方法については室外ユニットの電気配線図を参照してください。
- 応急運転を行なうときの確認項目と注意事項
 - 以下の場合、応急運転はできません。
 - 室外ユニットに異常がある場合
 - 室内送風機に異常がある場合
 - 応急運転は電源発停による連続運転となります。リモコンでのON/OFFまたは温度等は作動しません。
 - 暖房応急運転中に室外ユニットが霜取運転を開始すると冷風を吹出しますので長時間の運転はしないでください。
 - 冷房応急運転は最長10時間以内としてください。室内ユニットの熱交換器が凍結する恐れがあります。
 - 応急運転終了後はコネクタ設定等を元の状態に戻してください。